

通級だより

静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2023年10月 No.6



風が冷たくなるとともに空が高くなり、秋らしさが日に日に増してきました。

秋といえば、「芸術の秋」「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」など、連想できる風物詩が数多くあると思います。秋は、気候が穏やかになり大変過ごしやすく、美味しい秋の味覚が豊富で、美しい花も咲き誇る季節です。『秋』と聞いて、みなさんは何を思い浮かべますか。

～秋の風物詩クイズ～



みなさんは、いくつ答えられたでしょうか。答えは裏面にあるので、確認してくださいね。

自分の身を守るために準備しよう！

今年の夏、静岡聴覚特別支援学校がある静岡市駿河区では突風による被害がありましたが、その他にも地震やゲリラ豪雨等の自然災害が心配されます。災害をなくすことはできませんが、正しい知識と日頃からの備えがあれば、被害を最小限にすることはできます。

もしも身近なところで災害が起きたとしたら、どのような困難が予想されますか。災害の直前直後は聴覚情報が頼りになるため、「緊急地震速報やサイレンなど、情報を得ることが遅れてしまう」「停電により暗くて視覚的な情報が得られない」等の状況が想定されます。

自分の「聞こえにくさ」「情報の取りにくさ」に関して、周りの人たちに伝えることに抵抗がある人もいるかもしれませんが、自分の身を守るためには、『情報を得るために必要な道具を事前に準備しておくこと』『状況に応じて周りの人の協力を得ること』が大切です。保護者との連絡方法や防災用品の準備等、改めて確認しておきたいですね。



誰もが分かりやすい支援方法を考えよう！

地域の小学校、中学校、高等学校と言語通級指導教室の先生方を対象に、第2回難聴児支援講習会を行いました。合理的配慮の講習では、「難聴児支援アイデアグランプリ」として、お題に挙げた状況での支援方法について具体的な場面を想定しながら意見を出し合いました。難聴児への支援方法は一つに限らず、場所や場面、きこえの状態によって様々であること、そして、その支援方法は周りの子どもたちにも分かりやすい支援であることを理解していただくことができました。

今月から、第2回の学校訪問に伺います。本人や保護者の思いに寄り添いながら、在籍校で生活する上で、必要な支援方法について考える場にしたいと思います。よろしくお願いします

持久走大会での、「ラスト1分！」
どう伝える？

校外学習のときの情報保障、
あなたなら、どうする？

難聴児支援 アイデアグランプリ

難聴児支援 アイデアグランプリ

10月のスキルちゃん

発音・発語のポイント 通鼻音（マ行、ナ行）

鼻に手を当てると、びりびりと少し振動するのが通鼻音です。両唇を閉じた音からゆっくり唇を開きながら母音を言うとマ行。前舌を歯茎につけてn音からゆっくり舌を離しながら母音を続けて言うとナ行になります。

言葉の二面性を意識しながら、授業（会話）を進めていますか？

言葉を正しく理解するための条件

①音声を正しく認識している。

口声模倣を促して確認しよう。

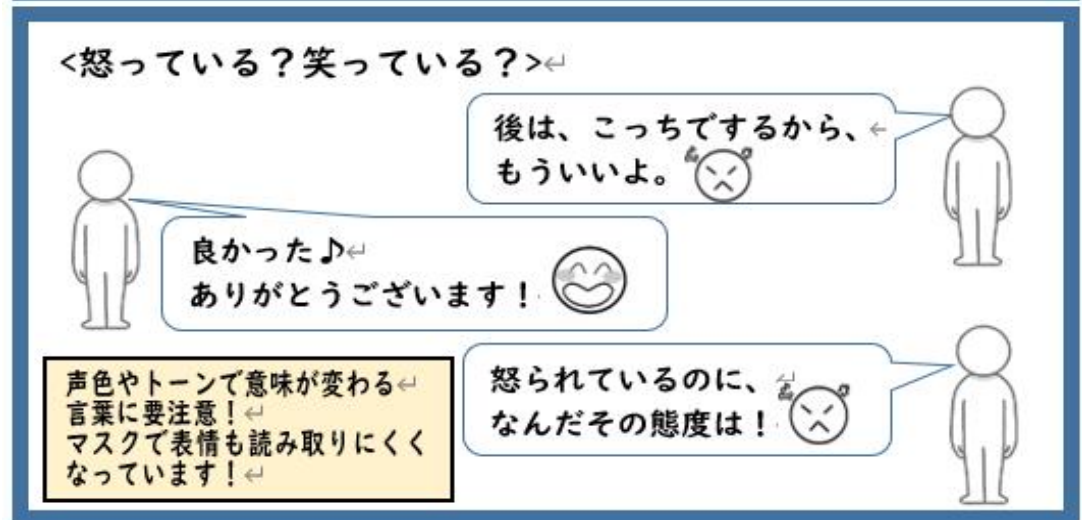
→教師「今、先生は何と言いましたか？」

②意味内容まで理解して、認識している。

理解して聞き取れているか確認しよう。

→教師「それは、例えばどんなこと？」

「それは、どこにあるの？」



授業中、発問に対して、子どもから想定外の答えが返ってくる…それは、言葉の意味を間違っ

【秋の風物詩クイズの答え】

①秋刀魚（さんま）②秋桜（コスモス）③松茸（まつたけ）④干し柿（ほしがき）⑤罌雲（いわしぐも）

⑥彼岸花（ひがなばな）⑦無花果（いちじく）⑧金木犀（きんもくせい）⑨鈴虫（すずむし）⑩銀杏（ぎんなん）